
免疫アレルギー疾患等実用化研究事業 (免疫アレルギー疾患実用化研究分野)

国立研究開発法人
日本医療研究開発機構

戦略推進部 難病研究課

免疫アレルギー疾患実用化研究分野



目的・概要

本研究事業では、

- ・病因・病態の解明等に関する研究
- ・予防、診断及び治療法に関する基礎的研究の成果・シーズを新規創薬、医療技術等実用化につなげる研究開発を進め、患者のQOLの維持・向上を目指す。

アレルギー疾患領域

- ・アトピー性皮膚炎
- ・気管支喘息、花粉症、アレルギー性鼻炎、
- ・アレルギー性結膜炎
- ・食物アレルギー、薬剤アレルギー
- ・その他アレルゲンに起因する免疫反応に関わる疾患

免疫疾患領域

- ・関節リウマチや皮膚・粘膜臓器の異常に起因する疾患等、何らかの免疫反応が関与する疾患

免疫アレルギー疾患実用化研究分野



政策研究との連携

アレルギー疾患対策基本法

(平成26年6月20日成立) 第四節 研究の推進等 第19条

政策 (厚労省)

- ・ 医療体制の確立及び医療の標準化
- ・ 情報提供及び相談体制の確保と充実
- ・ 効果的な研究開発及び医薬品等開発の推進
- ・ 患者の生活の質の維持向上

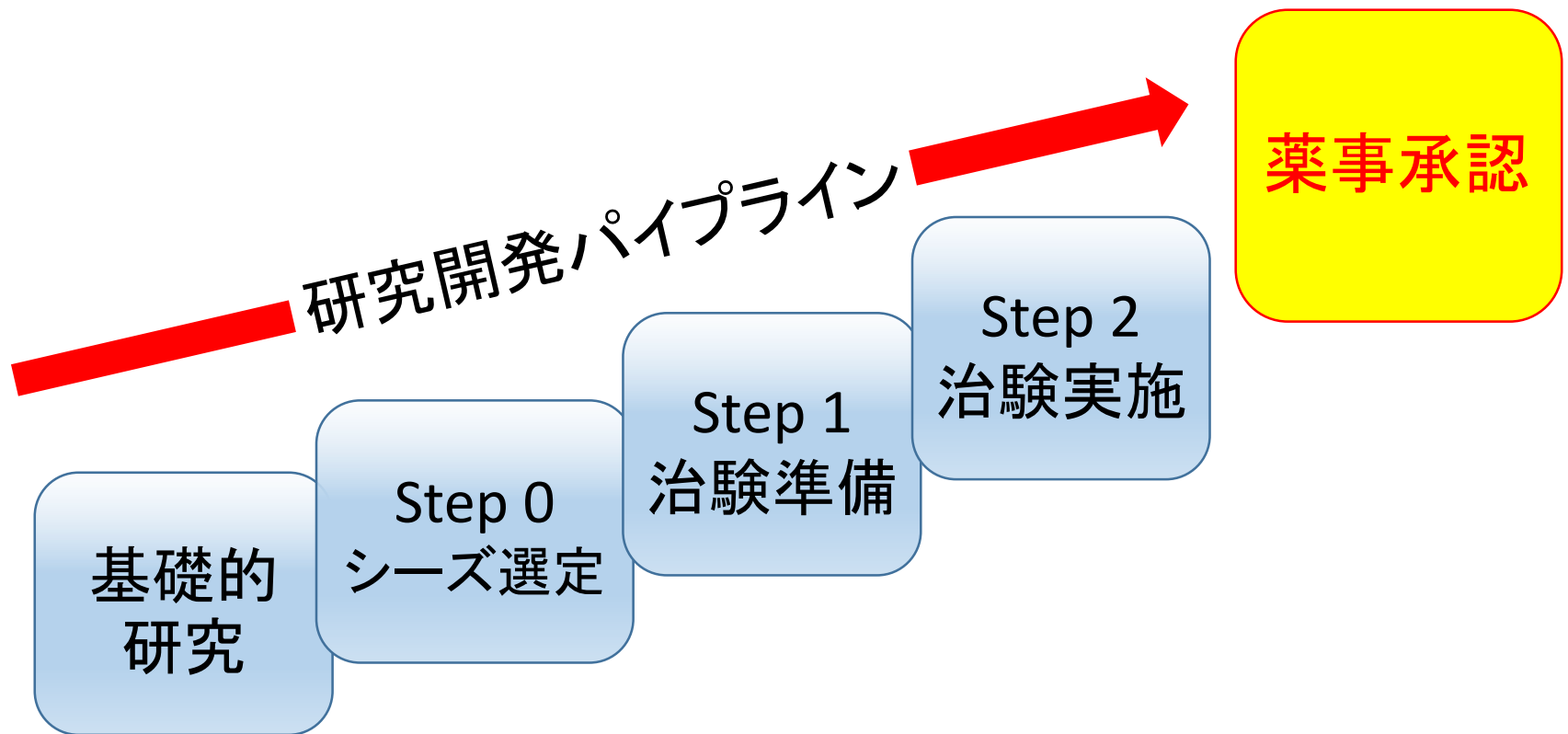
政策と連動した研究の推進

研究成果の反映

実用化研究 (AMED)

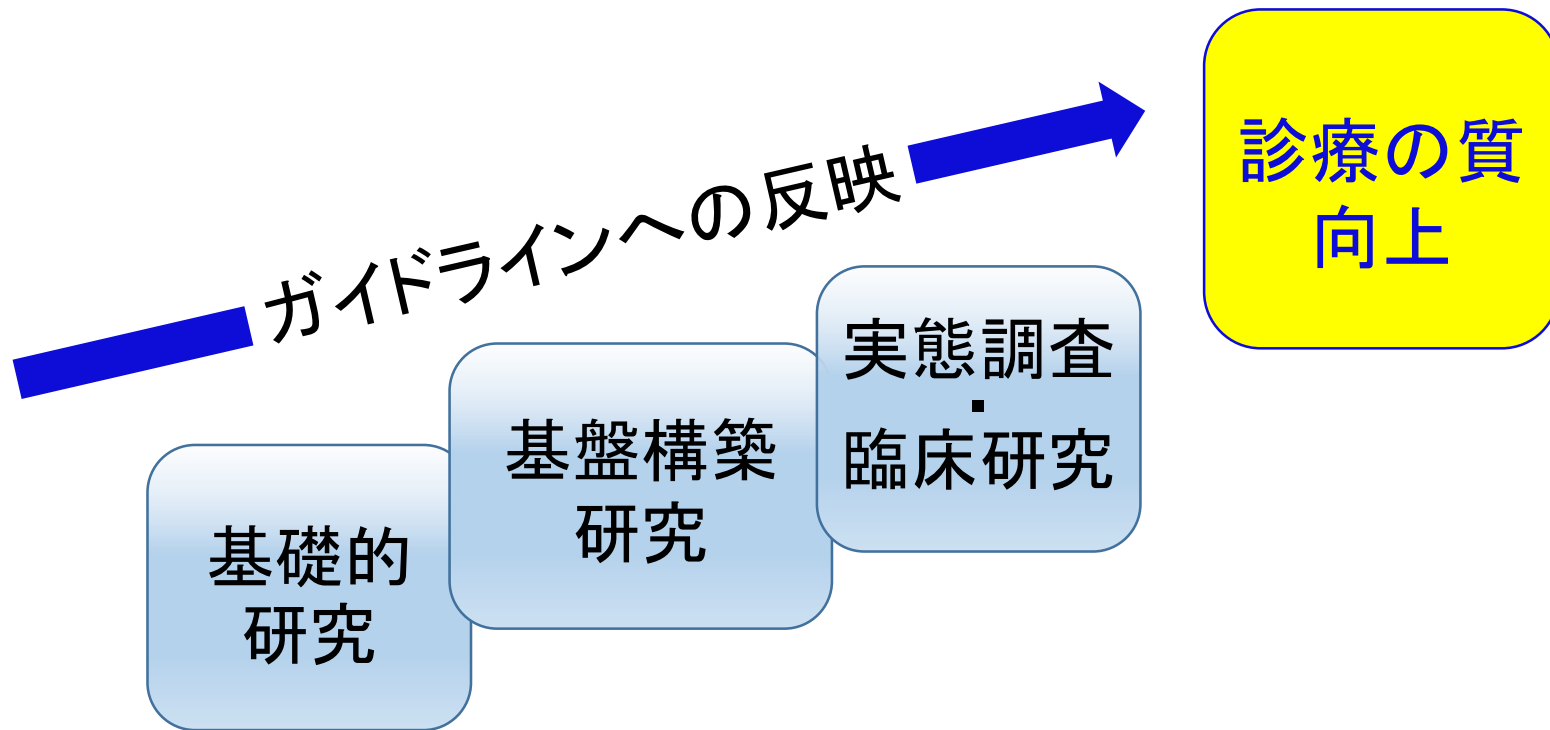
- ・ 病因・病態の解明等に関する研究
- ・ 新規創薬、医療技術の開発研究等

免疫アレルギー疾患実用化研究分野



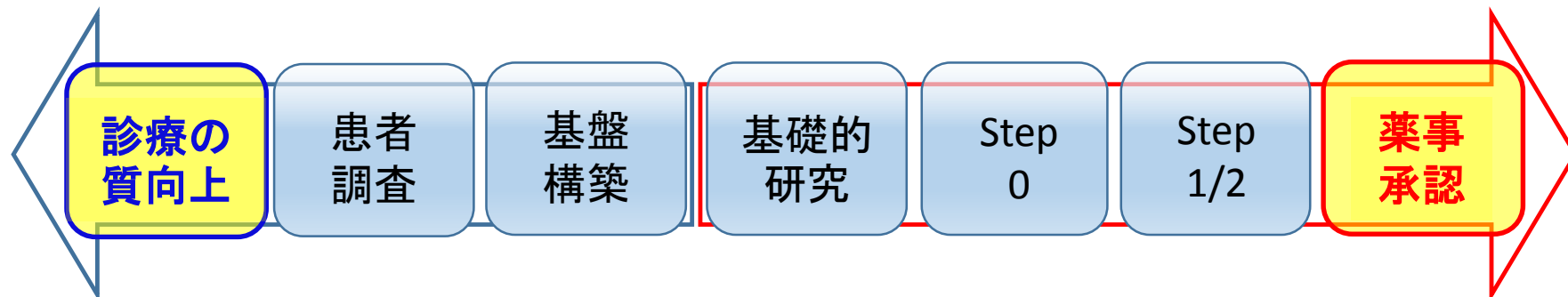
研究開発パイプライン
基礎的研究から薬事承認まで

免疫アレルギー疾患実用化研究分野



免疫アレルギー疾患政策研究班と連携し
ガイドライン作成に資するエビデンスを構築

免疫アレルギー疾患実用化研究分野



疾患領域	Step	診療の質の向上に資する研究	病態解明治療研究	Step 1/2
アレルギー		5課題 (3課題終了)	6課題 (3課題終了)	
免疫		5課題 (1課題終了)	3課題 (1課題終了)	5課題 (2課題終了)

免疫アレルギー疾患実用化研究分野



2016年度1次公募について

○期間:最長3年(2016～2018年度)

	分野等、公募研究課題名	1課題あたりの 研究開発の 規模(年間)	新規採択課題 予定数
1	診療の質の向上に 資する研究 (患者実態調査 ～基盤構築研究)	5,000千円～ 10,000千円 程度	【アレルギー疾患領域】 0～3課題程度
			【免疫疾患領域】 0～1課題程度
2	病態解明治療研究 (基礎的研究 ～ステップ0)	10,000千円～ 25,000千円 程度	【アレルギー疾患領域】 0～3課題程度
			【免疫疾患領域】 0～1課題程度

免疫アレルギー疾患実用化研究分野



評価・管理体制

- ・プログラムスーパーバイザー(PS)
国立病院機構福岡病院 名誉院長 西間三馨
- ・プログラムオフィサー(PO)
大阪府警察協会大阪警察病院 院長 越智隆弘
大阪医科大学 名誉教授 竹中 洋
旭川医科大学 名誉教授 飯塚 一

採択後提出書類等

- ・7月: **調査票** → 8月:一斉ヒアリング
→ 研究者へのフィードバック
- ・11月: **報告書** → 12月:中間・事後評価委員会
→ 研究継続の可否、次年度配分額の決定
- ・11月: **成果報告会抄録** → 翌2月 合同成果報告会
- ・年度末: **成果報告書**